2025年度
京都先端科学大学
出張模擬授業のご案内

KUAS 京都先端科学大学
KYOTO UNIVERSITY of ADVANCED SCIENCE

大学の授業を体験しませんか

京都先端科学大学は5学部10学科を有する総合大学で、経験豊富な教員陣が揃っています。その教員が貴校に出向き、高校生の皆さまに大学の授業を体験いただき、学問の面白さに触れる機会をご提案いたします。

なお、模擬授業は本学の施設を利用して実施することも可能ですので、進路指導や総合的な学習（探究）の時間などでの活用を、ぜひご検討ください。
つきましては、ご希望、ご要望等がございましたら、以下の専用フォームまたはE-mailでお申し込みください。

◆ 専用申込フォームで申込み：

https://forms.office.com/r/UzJsEEqifM

◆ E-mailで申込み：以下の内容をご記載のうえ、お申込みください。

E-mail：nyushi@kuas.ac.jp

●高校名

●ご担当者様のお名前・連絡先

●ご希望日時（第1希望～第３希望）

●対象学年・コース・予定人数

●ご希望の模擬授業（第1希望～第3希望）
※学部・学科・番号・講義タイトルをご記入ください。

●最終回答締め切り日

●その他ご要望など

＜ 探究学習の課題・テーマ設定にご活用ください ＞

◆ 各講義が『SDGsの17目標』のどの目標に関連しているのかを記載しております。
SDGsテーマからお探し頂くことも可能です。
※探究学習での活用をご検討されている場合は、その旨、ご連絡ください。

◆ お問い合わせ先

京都先端科学大学　入学センター
TEL：075-406－9270 ／ FAX：075-406-9278
E-mail：nyushi@kuas.ac.jp

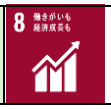
経済経営学部

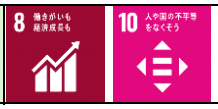
経済学科

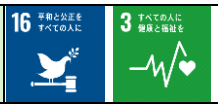
No.	1	教員名	阿部　千寿子	SDGsテーマ	
講義タイトル	あなたの気持ちを守るためには？性教育と性同意　ー時代と共に移り変わる性犯罪ー				
内容	女性の性的被害が度々ニュースになり、「男性の家に行った女性が悪い」「男性を誘惑した」などと言われて、ネットでも誹謗中傷を受けたりします。しかし、女性ばかりが責められる時代は過去のもので、実は時代と共に、性犯罪や性同意についても法律自体が変わってきています。大事なことだからこそ、考えてみましょう。				

No.	2	教員名	阿部　千寿子	SDGsテーマ	
講義タイトル	どうしたら子供を虐待から守れる？　ーしつけと体罰の違いとは？毒親とは？ー				
内容	子供に自分の意見を押し付けてしまう「毒親」。そんな毒親からの「しつけ」と称した教育は、実は、体罰やDVになっているかも。児童虐待防止法も時代と共に変化している中で、どこからが「虐待」になるのか、なぜ可愛い子供を「虐待」してしまうのか考えてみましょう。				

No.	3	教員名	浦川　源二郎	SDGsテーマ	
講義タイトル	区別をしないことは平等か？				
内容	世の中にはいろんな基準のもと、いろんな区別がある。区別の基準として、たとえば年収、職歴・学歴、男女、国籍などがある。またそうした基準をもちいた区別として、税金、雇用、給与、休暇、権利保障などが無数に存在する。この講義では、いかなる区別が許され、あるいは許されざるのかを学ぶ。				

No.	4	教員名	岡嶋　裕子	SDGsテーマ	
講義タイトル	人はなんのために働くか？　ー仕事とお金とやる気の話ー				
内容	高校を卒業したら、あるいは、大学へ進学する人は大学を卒業したら、ほとんどの人が働くことでしょう。多くの人がなんらかの仕事をして、お金を得て、生活をしています。世の中にはどんな仕事があり、企業はどんな人を採用しているのでしょうか？　賃金さえもらえたら、人は一生懸命に仕事をするのでしょうか？　経済学で考えてみましょう。				

No.	5	教員名	岡嶋　裕子	SDGsテーマ	
講義タイトル	経済学で考える「幸せ」とは				
内容	経済学では所得やGDPを使って「幸福」を測ってきました。1人当たりGDPが大きい日本は幸福な国とされていますが、あなたは幸せですか？・・・お金はなくても、将来の不安なく安心して暮らせる社会なら、人は幸せかもしれません。不平等な社会では、不幸に感じるかもしれません。様々な理論やデータから、幸せについて考えてみましょう。				

No.	6	教員名	久下沼　仁笥	SDGsテーマ	
講義タイトル	民主主義の経済学　ーみんなで決めればそれでいいの？ー				
内容	近代の社会システムの主軸に据えられてきた「民主主義」の特徴の一つは、「投票」を通じて「みんなで決める」ことです。この民主主義の基底にある思想は、“最大多数の最大幸福”で知られる「功利主義」です。本講義では、民主主義が投票を通じて社会にとって最適な選択を保証する、信頼に値するシステムであるのかを考えます。				

No.	7	教員名	久下沼　仁笥	SDGsテーマ	
講義タイトル	経済学と倫理　－そんなもの取引していいのか！？－				
内容	売買に代表される「経済的取引」を通じて、売り手も買い手も利益を手にします。そして、この利益の合計を最大化することを「経済合理性」と呼びます。社会的状況の善し悪しを判断する際の基準として、経済合理性は一定の説得力を持ちますが、必ずしも普遍的、絶対的な基準ではありません。本講義では、経済合理性とそれ以外の倫理基準との対照を行います。				

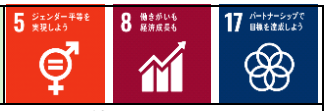
No.	8	教員名	久下沼　仁笥	SDGsテーマ	
講義タイトル	お金と幸福の関係　－ライフプランとファイナンス－				
内容	経済学の究極の目的は、「人間社会の幸福度を高める」ことにあります。経済成長によって人々の所得が増大し、経済的により豊かな暮らしが可能になることは、社会にとって望ましい、と考えます。他方で、人間の幸福は、経済的豊かさだけでなく、他の多くの要素によっても影響を受けます。本講義では、幸福な人生のあり方を考えるためのヒントを学びます。				

No.	9	教員名	久下沼　仁笥	SDGsテーマ	
講義タイトル	貨幣と金融の起源　―お金、銀行、株式、暗号資産はどのように生まれたのか？―				
内容	原始の時代、人間は物々交換から経済的取引を始めたものと考えられています。そして、「貨幣」の登場によって、この経済的取引は飛躍的に効率化され、拡大してきました。本講義では、「貨幣の起源」の説明に始まり、貨幣の賃借を取り扱う「金融業の誕生」、現代企業の主要な資金調達である「株式の誕生」、そしてビットコインに代表される「仮想通貨の誕生」について説明します。				

No.	10	教員名	三保　紀裕	SDGsテーマ	
講義タイトル	進路を決めることの難しさ　―皆さんを取り巻く社会の状況と就職の話―				
内容	「進路ってどうやって決めたらいいんだろう？」誰もが悩むことだと思います。最終的に進路を決めるのは自分。でも、どうやったら自分の納得がいく進路が決めれるんだろう？本講義では、皆さんを取り巻く社会の状況や就職の仕組みなどに触れつつ、進路を決める上での心構えについてお話ししたいと思います。				

No.	11	教員名	清水　裕子	SDGsテーマ	
講義タイトル	あなたのiPhoneはどこから来たの？				
内容	世界企業ランキングで常に上位にいるアップル社は、iPhoneを多様な国籍の企業の部品とそれらを中国などで組み立てるという世界のネットワークであるサプライチェーンによって製造しています。私たちの手元にくるまでiPhoneはどういった道のりを歩んでいるのでしょうか？				

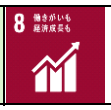
No.	12	教員名	石原　卓典	SDGsテーマ	
講義タイトル	身近な出来事から学ぶ経済学				
内容	近年インバウンドによるオーバーツーリズムが課題として取り上げられています。オーバーツーリズムを解消するためにどういった方法があり得るのでしょうか。この講義ではオーバーツーリズムに対する経済学の知見をもとに、オーバーツーリズムに対する解決策を考え、それを通して経済学の考え方を紹介します。				

No.	13	教員名	川田　耕	SDGsテーマ	
講義タイトル	社会とはなんだろう　―社会をめぐる日本人の歴史―				
内容	日本では、「社会人」という言葉が示すように、「社会」は主に賃労働の現場全体を意味しており、そこでの活動を重視してきました。こうした日本的な社会観の背景には、江戸時代以来の道徳や戦時体制などの歴史的背景があり、それらを知ることで、社会、労働、家族のありかたについて理解を深めることができるでしょう。				

No.	14	教員名	村田　淑子	SDGsテーマ	
講義タイトル	投資詐欺　ー絶対儲かる株の秘密情報をあなたにだけ教えますー				
内容	近年、SNS投資詐欺が増えています。例えば「絶対儲かる株の秘密情報をあなたにだけ教えます」は昔からの詐欺の常套句です。そもそも株価が上がる仕組みは？秘密情報は本当にある？騙す側は人間のどんな心理を悪用している？投資詐欺に騙されないための基本知識を、公正な証券市場を守る法制度を含めてお話しします。				

No.	15	教員名	大野　彰	SDGsテーマ	
講義タイトル	富岡製糸場は日本の製糸業振興に貢献したのか				
内容	富岡製糸場といえば、明治政府が推進した殖産興業政策の象徴として、あまりにも有名です。また後に製糸業が発達し大量の生糸を輸出するようになったので国際収支の帳尻が合い産業革命が進展したことも事実です。しかし、富岡製糸場にフランスの製糸技術を導入したおかげで日本の製糸業が発達したのでしょうか。				

No.	16	教員名	難波　敏彦	SDGsテーマ	
講義タイトル	経済学ってホントに役に立つの？　ーゲーム理論で学ぶ『使える』経済学ー				
内容	皆さんは、AmazonやGoogleといった大企業が経済学を学んだ人を積極的に採用していることをご存知ですか？今回は、みんなで簡単なゲームをしながら経済学がどのようにしてビジネスに使われるのかを紹介したいと思います。				

No.	17	教員名	柏﨑　洋美	SDGsテーマ	
講義タイトル	アルバイトでの働き方　ーこれでいいの？ー				
内容	高校生もアルバイトをされているでしょう。聞いていた時給よりも安い、労働時間が長い場合など、アルバイトを続けるしかないのでしょうか。また、勤務中にケガをした、アルバイトに向かっていたところ、駅の階段から落ちてケガをした場合は、治療費はどうするのでしょうか。法律に規定される基本的な知識をお話しします。				

No.	18	教員名	平田　謙輔	SDGsテーマ	
講義タイトル	子どもが減ると日本はどうなる？　―少子高齢化・人口減少と社会保障―				
内容	日本では今、生まれてくる子どもの数が年々減っており、今後、人口は減り続けると見られます。その一方で、高齢者は今や国民の約３割にものぼります。では、なぜそうなるのでしょうか？　そしてそれは私たちの暮らしにどのような影響を与えるのでしょうか？　様々な資料やデータを基にして、経済的な側面を中心に、未来の日本を一緒に考えてみましょう。				

No.	19	教員名	澤田　吉孝	SDGsテーマ	
講義タイトル	人生100年時代における資産運用の必要性				
内容	金融庁の報告書を発端に「老後30年間で約2,000万円が不足する」と言われており、その対策として老後資金のための資産形成が欠かせないものとなりつつあります。授業では、老後資金2,000万円問題と生涯収支の観点を中心に、本当にお金は足らないのか？また、老後資産形成は重要なのか？についてお話しします。				

No.	20	教員名	濱口　喜広	SDGsテーマ	
講義タイトル	経済学から考える教育と格差				
内容	大学に進学すれば、学費を支払う必要があるだけでなく、高卒として働いて収入を得る機会が無くなる。にもかかわらず、人々はなぜ高等教育を求めるのか？この講義では、経済学の視点から、教育を受ける価値や社会への影響を解説する。				

No.	21	教員名	カオ ティ キャン グェット	SDGsテーマ	
講義タイトル	合理的な人々はどのように意思決定するか？				
内容	本講義では、経済学への誘いという趣旨で、経済学の基本的な考え方や概念について考えます。まずは希少性を理解し、その後、希少性に直面した合理的な人々がどのように意思決定をするのかを探ります。この知識を活用し、私たちが直面する身近な問題から社会的な課題まで、どのように解決すべきかを一緒に考えてみましょう。				

経営学科

No.	1	教員名	小野里　光広	SDGsテーマ	
講義タイトル	株式会社とはなんだろう？－その特徴を考える－				
内容	現代社会において一定規模以上の重要な取引を行うのは、個人ではなく会社です。その中で、もっとも利用されている形態が株式会社ですが、なぜこのように世の中に広まったのでしょうか？人類の偉大な発明の１つとして、株式会社の主な特徴について考えてみます。				

No.	2	教員名	藤川　義雄	SDGsテーマ	
講義タイトル	コロンブスと会計				
内容	大西洋を渡って新大陸に到達したコロンブスはなぜそのような危険な航海に出たのでしょうか？コロンブスの正体は新たなことに挑戦する商人であり、それを支えたのは簿記だったのです。そしてその仕組みは現代の株式会社へと発展していきます。簿記を通して新たな視点で世界史をとらえ、現代との関わりをお話しします。				

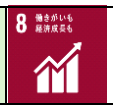
No.	3	教員名	藤川　義雄	SDGsテーマ	
講義タイトル	簿記・会計を学ぶ意義				
内容	簿記・会計は英語、ITと並んで企業が新社会人に求める基本知識の一つであり、これらは現代ビジネス社会における３種の神器といわれることもあります。簿記や会計は専門家が習得しておけばよいわけではなく、一般社会人に広く求められる基本的な知識なのです。検定試験に合格するということだけでなく、その先にある簿記や会計を学ぶ意義をお話しします。				

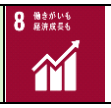
No.	4	教員名	藤川　義雄	SDGsテーマ	
講義タイトル	会計で探る儲けのからくり				
内容	私たちの身の回りにはたくさんのお店や会社がありますが、いかにも繁盛していそうなところもあれば、どうやって利益を出しているのか不思議な店もあります。それぞれ異なるやり方で利益を上げているわけですが、会計的な視点を通してみればその仕組みがよく見えてきます。それを身近な事例をもとに考えてみましょう。				

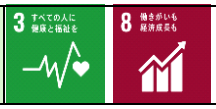
No.	5	教員名	藤川　義雄	SDGsテーマ	
講義タイトル	マネジメント・ゲームを利用した会社経営のシミュレーション				
内容	５０分×４回を１セットで実施します。対応可能な人数は5-20人の範囲内です。 【１回目】ゲームの概要とルール紹介、【２回目】ゲーム実戦、【３回目】原価計算、【４回目】振り返り				

No.	6	教員名	大島　博行	SDGsテーマ	
講義タイトル	スタバはなぜ人気？～消費者心理を巧みに利用した戦略～				
内容	スタバは若者に大人気のカフェですが、なぜ人気なのでしょうか？そこには消費者の心理を巧みに利用した戦略があります。６つのキーワードでスタバの人気の秘密を明らかにします。				

No.	7	教員名	大島　博行	SDGsテーマ	
講義タイトル	食べ放題の店はどうやって儲けているのか？～身近なお店の経営戦略を知ろう～				
内容	みなさんはマクドナルドなどの期間限定商品があればつい買ってしまうと思います。セットメニューもお得感があります。でもそれらはすべてお店の戦略です。食べ放題の店も損をしないどころか、むしろ儲かる工夫がいっぱいです。身近なお店の経営戦略を知れば普段の買物が楽しくなります。				

No.	8	教員名	大竹　恵子	SDGsテーマ	
講義タイトル	テレワークが普通の働き方になる？～自分の理想の「働き方」について考えよう！～				
内容	パンデミックをきっかけに急速に広がった「テレワーク」という働き方。ただ、みなさんも学校に行けないとストレスになるように、やはり職場に行ってみんなの顔をみないと仕事ができないという人もいます。「テレワーク」によって働き方はどう変わるのか？どのような人材がこれから求められるのか？一緒に考えてみましょう。				

No.	9	教員名	大竹　恵子	SDGsテーマ	
講義タイトル	ワーク・モチベーションとは？～勉強や仕事の「やる気」について考えてみよう！～				
内容	みなさんは日頃、どのように勉強へのやる気を出しているでしょうか？人が何かに向けてやる気を起こし、実際に行動につながっていくプロセス（過程）のことを「モチベーション（動機づけ）」と呼びます。ワーク・モチベーションに関する理論を使いながら、一緒に、行動への「やる気」の仕組みについて考えてみましょう。				

No.	10	教員名	大竹　恵子	SDGsテーマ	
講義タイトル	職場はストレスがいっぱい!?～職業性ストレスやメンタルヘルスについて知ろう！～				
内容	大人が働く職場には、ストレスの原因になるものがいっぱいあります。でも、それを上手に乗り越えられるかどうかは、人によって大きく違うのです。みなさんが将来、心も体も健康に働いていくことができるよう、ストレスやメンタルヘルスについて、正しい知識や、賢い対処の仕方を学んでみましょう。				

No.	11	教員名	安達 房子	SDGsテーマ	
講義タイトル	スマホは危険がいっぱい！　～便利と危険は紙一重～				
内容	スマホで動画をみるアプリをダウンロードしたら、高額な料金請求がメールに届くようになった・・・。こうした被害が最近相次いでいます。便利なスマホですが、トラブルに巻き込まれるリスクも高くなっています。スマホの便利さの陰に潜む問題点について考えてみましょう。				

No.	12	教員名	安達 房子	SDGsテーマ	
講義タイトル	AI（人工知能）で仕事はなくなるの？				
内容	iPhoneに搭載されているSiri、お掃除ロボットなど様々な身近なモノにAIが活用されています。最近ではChatGPTに代表される生成AIも普及しています。AIによってどんな仕事が取って代わられるのでしょうか。私たちはどんな知識を身につければよいのでしょうか。一緒に考えてみましょう。				

No.	13	教員名	長澤　直子	SDGsテーマ	
講義タイトル	SNSと経営～企業は顧客獲得のためにSNSをどう活かしているんだろう？～				
内容	企業はSNSを、お客様への強みのアピールや商品・サービスの理解を促すため、双方向のコミュニケーションツールとして役立てています。では、お客様にアピールしつつ、信頼あるコミュニケーションを展開するにはどうすればよいのでしょうか？実際の事例を見ながら考えてみましょう。				

No.	14	教員名	池井　優佳	SDGsテーマ	
講義タイトル	会社経営シミュレーション！～会計は経営の強い味方～				
内容	多くの会社は、商品やサービスをお客様へ提供してもうけ（＝利益）を出しています。もうけを出すためには、適切な値段設定が肝心です。商品やサービスを仕入れ、製造、準備するためにも、それを販売するためにもお金がかかります。では、売値をいくらにすればもうけが出るのか、適切な値段設定の方法を考えてみましょう。				

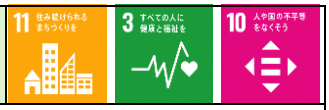
No.	15	教員名	池井　優佳	SDGsテーマ	
講義タイトル	お金の話だけじゃない！？会社の「決算書」には何が書いてあるの？				
内容	会社は、1年に1度、「決算書」を作成し、公表しています。この「決算書」では、会社の儲けやお金の情報はもちろん、従業員に関する情報や気候変動に対する取り組みに関する情報も公表されています。実際の「決算書」を用いて、会社の公表する情報を見てみましょう。また、会社がなぜこのような情報を公表しているのか考えてみましょう。				

No.	16	教員名	鈴木　貴之	SDGsテーマ	
講義タイトル	日本企業が勝ち残るための製品戦略とは～任天堂を事例に～				
内容	任天堂が2006年から2009年にかけて急成長した理由は、ニンテンドーDSとWiiによるものです。そこには、他のゲーム会社とは異なる「独自の戦略」がありました。この成功のポイントを説明し、同じく成功したAppleとの共通点を見つけ、これからの日本企業が参考にすべきことを検討します。				

No.	17	教員名	鈴木　貴之	SDGsテーマ	
講義タイトル	技術だけじゃない！イノベーションの本当の意味を解き明かす				
内容	イノベーションとは、今までになかった新しい組み合わせを生み出し、私たちの生活をより便利にすることです。例えば、スマートフォンやSpotifyなどがその代表例です。イノベーションには、新しい製品、新しい作り方など、5つの種類があります。身の回りにも多くのイノベーションがあるので、ぜひ探してみましょう！				

No.	18	教員名	田口 広樹	SDGsテーマ	
講義タイトル	「ブランド」って何だろう？				
内容	「ブランド」という言葉を聞いて、どのようなことを思い浮かべるでしょうか。高級ファッション・ブランドやコンビニのプライベート・ブランド、インフルエンサーの自己ブランディングという言葉を聞いたことがある人もいるかもしれません。ここでは「ブランドとは何か」という疑問を出発点に、ブランドを創造・運営するための戦略を探ります。				

No.	19	教員名	田口　広樹	SDGsテーマ	
講義タイトル	なぜ「サブスク」が流行るのか？ ～Amazon PrimeやNetflixだけじゃない、サブスクの広がり～				
内容	Amazon Prime VideoやNetflixで映画やドラマを、Apple MusicやSpotifyで音楽を楽しんでいる人が多いと思います。これらのサブスクが、どのような仕組みで成り立っているのか、消費者にどんなメリットがあり、企業はこの提供方法を導入することで何を実現しようとしているのかを検討します。				

No.	20	教員名	田口　広樹	SDGsテーマ	
講義タイトル	買物難民・買物弱者って知ってる？～日常の買物から地域の流通を考える～				
内容	高齢者を中心に、日々の買物に困難を抱える人々（買物弱者・買物難民）の問題が深刻化しています。こうした人々の問題が、どのような場所で、どのような理由で発生するのか、どのような対応が課題解決のために求められているのかを、企業や地域、そして消費者の視点から考えてみましょう。				

No.	21	教員名	宇田川　雄彦	SDGsテーマ	
講義タイトル	コロナ後の観光業界が目指すべき姿～地域との連携による新しい観光商品づくり～				
内容	新型コロナウイルスの拡大は全世界の観光の姿を大きく変えました。既存の観光の在り方を持続可能な観光の新しい姿に変えていくことが求められる今、地域と共存して新たな観光商品づくりに取り組む旅行会社の現場を紹介します。				

No.	22	教員名	新長　章典	SDGsテーマ	
講義タイトル	DX(デジタルトランスフォーメーション)って何？ ～ICTとDXは何が違うの～				
内容	ここ数年、DX(デジタルトランスフォーメーション)という言葉をよく耳にするようになったと思います。また、ICTという言葉も聞き慣れていると思います。それではICTとDXは何が違うのでしょうか？この講義ではICTとDXとの違い、活用メリットや活用事例を解説します。				

人文学部

心理学科

No.	1	教員名	君塚　洋一	SDGsテーマ	
講義タイトル	携帯のむこうとこちら　スマホは「こころ」をどう変える？				
内容	メディアへの総接触時間が１人1日平均７時間を超える今日、スマホは私たちの生活に深く入り込んでいます。SNSは人と人とのつながりを「見える化」する一方、リアルの世界の質を少しずつ変えていきます。メディアが私たちの心理や行動に影響し、人とのかかわりや自分自身の感覚を変えていく現実を具体的な事例とともに考えます。				

No.	2	教員名	君塚　洋一	SDGsテーマ	
講義タイトル	「推し」のチカラ　推奨コミュニケーションの不思議（マジック）				
内容	タレントやアニメ、ゲームのキャラクター、アスリート、動物や建築物、企業ブランドに至るまで、「推し」への熱愛や応援に夢中になる活動が広まっています。「推し活」はファンに生きるエネルギーを与える一方、SNSでのトラブルや、あの手この手でお金を吸収するビジネスが批判されるなど両面を持ちます。「推し」の光と影を考えます。				

No.	3	教員名	君塚　洋一	SDGsテーマ	
講義タイトル	ブランドと「らしさ」　スニーカーにハマるのはなぜ？				
内容	私たちが「モノを買って使う」とき、商品の物理的な機能を消費すると同時に、自分自身のアイデンティティを得たり、まわりの人たちに自分自身のイメージを発信したりしています。ブランドのついたスニーカーが欲しくなり、それを手に入れる私たちの心理や行動には何が起きているのか、さまざまな具体例をもとに考えます。				

No.	4	教員名	小山　智朗	SDGsテーマ	
講義タイトル	みいちゃんはなぜ成長したの？～「はじめてのおつかい」に学ぶ臨床心理学～				
内容	皆さんは「はじめてのおつかい」（筒井頼子作・林明子絵）を知っていますか？約50年間も人気がある、絵本界のスーパースターです。「小さい時に読み聞かせてもらった」という人もいるかもしれませんね。主人公みいちゃんの心模様を臨床心理学の視点から読み解きましょう。さあ、みいちゃんと一緒にはじめてのおつかいへ！				

No.	5	教員名	小山　智朗	SDGsテーマ	
講義タイトル	なぜサツキとメイは成長したの？～「となりのトトロ」に学ぶ臨床心理学～				
内容	誰もが大好きトトロ。皆さんはトトロのことを「ぼんやりした癒し系」と思っていませんか？それは大間違い！私たちカウンセラーから見ても、実はトトロはすごい関わりをしているんです。まっくろくろすけの正体は実は・・・「それは何？」「教えて！！」って？講演する時のお楽しみに！				

No.	6	教員名	小山　智朗	SDGsテーマ	
講義タイトル	なぜ千尋は成長したの？～「千と千尋」に学ぶ臨床心理学～				
内容	皆さんは、ジブリ映画「千と千尋の神隠し」を知っていますか？主人公の千尋が、豚に変えられたお父さんお母さんを救うために、湯屋の中で活躍する物語です。千尋はなぜ成長したのでしょうか？そして両親はなぜ豚に変えられたのでしょうか？実は影の人気者、カオナシの秘密って？				

No.	7	教員名	小山　智朗	SDGsテーマ	
講義タイトル	なぜのび太は成長したの？～「ドラえもん」に学ぶ臨床心理学～				
内容	「ドラえもん」を知らない人はいますか？…きっといませんよね。ドラえもんは50年間もずっと人気があります。ドラえもんはなぜ人気があるのでしょう？「面白いから」だけではないんですよ。誰もが求める素敵な関わりをしているからなんです。この講義では、ドラえもんの関わりの秘密を教えますね。				

No.	8	教員名	上松　幸一	SDGsテーマ	
講義タイトル	心理療法と心理テストの話　ー実際の心理臨床現場からー				
内容	心理臨床の現場では、心理テストがよく活用されます。この授業では実際に現場で活用されている心理テストを体験し、自身の特徴を改めて知る機会にしたいと考えます。また心理テストの意義や、心理治療の現状についても紹介していきます。				

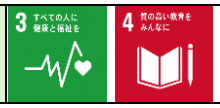
No.	9	教員名	上松　幸一	SDGsテーマ	
講義タイトル	「クレヨンしんちゃん」から ー問題行動をどのようにやめさせるか　行動分析の話ー				
内容	子どもが問題行動を起こした場合、どのように対応すれば良いのか悩む保護者は非常に多いです。その際、子どもの問題行動を減らし、良い行動を増やすためにどうすればいいのかを、クレヨンしんちゃんの行動を通して心理学的に解説していこうと思います。				

No.	10	教員名	上松　幸一	SDGsテーマ	
講義タイトル	アニメで考える行動の意味　ー海藤の厨二病（斉木楠雄のΨ難）や、中野二乃（五等分の花嫁）の心理を考える　　臨床心理学ー				
内容	アニメの中では、さまざまな特徴を持ったキャラクターが物語を進めていきます。非常に個性の強いキャラクターたちばかりです。しかし彼らの物語を単純に楽しむだけではなく、心理学的に深掘りすることで、人の心の動きについて考えてみようと思います。				

No.	11	教員名	上松　幸一	SDGsテーマ	
講義タイトル	大学生が子ども食堂をやってみた（「うずまさとんがりグループ」の活動を通して）				
内容	当ゼミ生を中心に活動している「うずまさとんがりグループ」が、社会貢献の一環として子ども食堂を開催しています。その活動を通して学生が何を学び、どのように成長していくのかについて、実践報告を通して紹介します。				

No.	12	教員名	山　愛美	SDGsテーマ	
講義タイトル	「異界」に入る物語『となりのトトロ』を発達心理学的・深層心理学的に見る				
内容	幼い頃に『となりのトトロ』を何度か観たことがある人は多いのではないでしょうか。トトロたちが棲んでいる世界（異界）は私たちがいるこの世界のほんの「となり」にあるようです。講義では、この物語を発達心理学と深層心理学の視点から読み解きます。				

No.	13	教員名	菱田　一仁	SDGsテーマ	
講義タイトル	ハウルの動く城に見る心理学。出会いと変化				
内容	人と人は、様々な形ですれ違ってしまいます。その一方で、人との出会いの中で私たちは相手を理解し、同時に自分自身も変化していきます。人との出会いの中で、なぜ私たちがすれ違ってしまうのか、そこからいかに変化していくのかを『ハウルの動く城』を題材に見ていきます。				

No.	14	教員名	谷口　康祐	SDGsテーマ	
講義タイトル	赤ちゃんの不思議を科学する				
内容	皆さんにとって赤ちゃんはどういった存在でしょうか。生き物は赤ちゃんから始まり、成長していきます。それでは、赤ちゃんはどうやって大人になるのでしょうか。この授業では、心理学から赤ちゃんの不思議に関する研究を紹介していきます。				

No.	15	教員名	谷口　康祐	SDGsテーマ	
講義タイトル	AIはヒトよりも賢くなるのか？―ヒトの心理と人工知能―				
内容	AI（人工知能）という言葉がよく聞かれます。皆さんはAIに対してどのようなイメージをもっているでしょうか。ここでは、そもそも知能とはどういうものかということから、AIがどういったものであるのか、AIとヒトの知能の違いを考えていきます。				

No.	16	教員名	小田中　悠	SDGsテーマ	
講義タイトル	いかにして人狼ゲームで嘘をつくのか				
内容	私たちは日常生活を送る中で嘘をつきます。では、どうして嘘をつくことができるのでしょうか。そして、どうして嘘はばれてしまうのでしょうか。考えはじめるとよくわからなくなってきます。この講義では、嘘をつくことと見破ることがメインテーマの人狼ゲームを通して、そんな謎に挑戦していきます。				

No.	17	教員名	小田中　悠	SDGsテーマ	
講義タイトル	テレビ番組の実況はいつ盛り上がるのか ーSNSにおける投稿を考えるー				
内容	見逃し配信などが主流になる中であってもなお、テレビ番組の特徴は、大勢の人たちが同じものを同じタイミングで視聴することです。そして、「#○○」とタグをつけた投稿を行うことで、視聴者たちはリアルタイムに互いの感想を知ることができます。そうして生まれる視聴者たちの盛り上がりについて考えてみたいと思います。				

No.	18	教員名	小田中　悠	SDGsテーマ	
講義タイトル	なぜ「ゲーム実況」は盛り上がるのか：オンラインライブ配信の熱狂				
内容	現在、いろいろなSNSでライブ配信を見ることができます。ライブ配信の魅力は、チャットを通して、配信者と視聴者が直接やりとりできることです。では、そのようなコミュニケーションにはどんな特徴があるのでしょうか。この講義では、「ゲーム実況」における視聴者たちの盛り上がりに注目し、そんなことを考えてみます。				

No.	19	教員名	原田　佑規	SDGsテーマ	
講義タイトル	心を科学的に研究するとは？ープロセスモデルを用いた心のメカニズムの分析ー				
内容	心理学では心を科学的に研究することが求められます。しかしながら、心という目に見えないものをどのように分析すればよいのでしょうか？本模擬授業では心を分析するための基本的な考え方を習得し、現実の社会課題の背景にある心のメカニズムを考察します。				

No.	20	教員名	滝本　香菜子	SDGsテーマ	
講義タイトル	自分の思考の枠組みを知ろう				
内容	経済学は、経済を読み解くだけではありません。大多数の人間の持つ思考のパターンを利用し、マーケティングなどにも応用されています。経済学の枠組みを利用して、自分の思考や陥りやすい癖など、客観的に自分を見つめるツールを解説します。				

No.	21	教員名	不破　早央里	SDGsテーマ	
講義タイトル	イメージから感じるこころの不思議－イメージを用いた心理療法を体験してみよう				
内容	こころの病いを抱えたり、悩みを抱えたりする人とわれわれ心理職は言葉で相談をしますが、時に自分を知るためには、それ以外のイメージを用いた心理療法を用いることもあります。一度体験してみましょう。自分の意外な一面を知ることができるかも・・？				

No.	22	教員名	神原　歩	SDGsテーマ	
講義タイトル	私たちの五感は本当に信じられるか？ー見たいものだけを見る私たちー				
内容	私たちは、自分があたかも、カメラのレンズが、世の中を映し出すように、世の中を見ていると信じて生活をしています。実は、全くそうではありません。私たちは、選択的に、そしてたまには物事を歪めてみています。さて、あなたが本当に物事をありのままに見ているのか？体験を通して、一緒に検討してみましょう。				

No.	23	教員名	佐藤　嘉倫	SDGsテーマ	
講義タイトル	AIを備えたロボットは家族の一員になれるか？				
内容	今はAIやロボットが社会の中に進出しています。スマホにもAIが搭載されていていろいろなことを教えてくれます。それではAIを備えたロボットは皆さんの家族になれるでしょうか。またどういう条件ならば受け入れられるでしょうか。この講義ではこの問題を皆さんと一緒に考えます。				

No.	24	教員名	佐藤　嘉倫	SDGsテーマ	
講義タイトル	人間関係は犯罪を防げるか？　東京23区を対象にして				
内容	アメリカの大都市では貧しい地域のほうが豊かな地域よりも犯罪率が高いという報告があります。しかし東京ではそんなことはありません。貧しい地域でも犯罪率が高いわけではありません。なぜそうなのでしょうか。私は人間関係が犯罪を防いでいるのではないかと考えます。このことを東京の地図で見ながら説明していきます。				

No.	25	教員名	佐藤　嘉倫	SDGsテーマ	
講義タイトル	なぜ日本では女性は男性よりも収入が低いのか？				
内容	日本では女性は男性よりも収入が低いです。同じ能力なのになぜそのようなことが起きるのでしょうか。今まで社会学者や経済学者はいろいろな仮説を考えてきました。この講義ではそれらを紹介しながら、収入の不平等をなくす方策を皆さんと考えます。				

No.	26	教員名	岡本　裕介	SDGsテーマ	
講義タイトル	ニュース系インフルエンサーについて考える				
内容	SNSなどでニュース関連の投稿をしているインフルエンサー、「ニュース系インフルエンサー」は、政治だけでなく、事件や芸能関係のニュースについても、マスメディアで見る公式の意見とは違うことを言っていて、大学生の間でも注目している人がいます。彼らの意見とどのように付き合えばよいか考えてみましょう。				

歴史文化学科

No.	1	教員名	丸田　博之	SDGsテーマ	
講義タイトル	京ことば！話してますか？				
内容	「京ことば」といっても実は歴史的に見れば日本語の歴史そのものであり、宮中言葉や武家言葉も広義にはそれに当たる。講義ではこうした歴史的京ことばの説明に加えて、比較的新しい京都のことばの実態について、生徒さんと双方向に情報の確認をしていく。				

No.	2	教員名	丸田　博之	SDGsテーマ	
講義タイトル	語源が分かれば古文や英語が強くなる！				
内容	英語の語源がわかると多義語といわれる英単語の理解が容易になる。講義ではそうした例を示しながら、さらに同じことが古文単語にも当てはまることを、実例を用いて説明し、古典文学への関心を深めるための一助になるようにしたい。				

No.	3	教員名	丸田　博之	SDGsテーマ	
講義タイトル	京都はなぜキリスト教のメッカなのか。				
内容	京都は仏教のメッカであることは言を俟たないが、実は歴史的には日本の中で最も早くからキリスト教に接し、また布教が広がった地域である。その理由を解明するとともに、そこにキリスト教と仏教との深いかかわりについて言及していく。				

No.	4	教員名	木場　貴俊	SDGsテーマ	
講義タイトル	アマビエはなぜ流行ったのか？―妖怪とうわさ―				
内容	新型コロナウイルスが流行したとき、「アマビエ」が大きな注目を浴びました。なぜアマビエは注目されたのか、その理由を考えながら、うわさと妖怪の関係について考えていきます。				

No.	5	教員名	竹内　有子	SDGsテーマ	
講義タイトル	西洋美術史を楽しむ　～探偵になって絵画の謎を解いてみよう				
内容	美術作品を見て「何が描かれているのか、作者は何を伝えようとしているのか」と思ったことはありませんか？感じることは人によって様々ですが、当時の思想・風俗・文化など時代背景を考え合わせて作品を読み解くと、アートがもっと面白くなります。				

No.	6	教員名	竹内　有子	SDGsテーマ	
講義タイトル	日本美術史を楽しむ　～探偵になって絵画の謎を解いてみよう				
内容	美術作品を見て「何が描かれているのか、作者は何を伝えようとしているのか」と思ったことはありませんか？感じることは人によって様々ですが、当時の思想・風俗・文化など時代背景を考え合わせて作品を読み解くと、アートがもっと面白くなります。				

No.	7	教員名	竹内　有子	SDGsテーマ	
講義タイトル	ジャポニスムってなんだろう？　～西洋における日本美術の影響				
内容	江戸末期に鎖国が解かれると、西洋諸国に日本ブームが起こりました。西欧の芸術家は、浮世絵や工芸から影響を受け新しい芸術を生み出そうとしました。日本と西洋の美術を比較して、日本美術の独自性について考えましょう。				

No.	8	教員名	金子　貴昭	SDGsテーマ	
講義タイトル	木版印刷の世界―お経から浮世絵まで				
内容	日本の印刷の歴史はいつ始まったのでしょうか。鮮やかな浮世絵はどのように印刷されていたのでしょうか。印刷・出版の歴史を支えた技術に、木版印刷があります。その歴史をひもときながら、木版印刷が果たしてきた役割を考えます。				

No.	9	教員名	金子　貴昭	SDGsテーマ	
講義タイトル	歴史文化をデジタルで調査しよう				
内容	歴史資料をデジタルの形で扱いやすくし、人々と共有しながら、誰も気付いていなかった価値を見出して、次の世代に継承していくのが歴史文化デジタルアーカイブです。この授業では、その可能性を考えます。				

No.	10	教員名	佐々木　政文	SDGsテーマ	
講義タイトル	スポーツしないと男らしくないのか？―男性性の近代史―				
内容	「男子は運動部、女子は文化部」というイメージは、いつ、どのようにして日本に広まったのでしょうか？早稲田大学野球部の創設者（安部磯雄）の思想を読み解きながら、スポーツとジェンダーの関係について歴史的に考えていきます。				

No.	11	教員名	佐藤　文子	SDGsテーマ	
講義タイトル	1000年の都・平安京の歴史を探る				
内容	歴史物語『大鏡』で語られる藤原道長たちの肝試しのエピソードを土台として、平安時代の人びとのホラースポットにどのような歴史が隠されているかを、近年の研究成果をもとに解明していきます。これから京都観光を予定するひとにもお勧めします。				

バイオ環境学部

生物環境科学科・応用生命科学科

No.	1	教員名	井口　博之	SDGsテーマ	
講義タイトル	日本の伝統発酵食品　～微生物が作り出す美味しさと健康成分				
内容	まず身近には様々な発酵食品があることの気づきを与え、続いて日本が誇る伝統的な発酵食品である醤油、味噌、酒、漬物などの歴史や製造技法、風味の特徴や健康機能を知る。最後に、発酵食品の中を顕微鏡で覗いて（または写真紹介）どんな微生物が活躍しているのか体感させる。				

No.	2	教員名	井口　博之	SDGsテーマ	
講義タイトル	"Japan Blue" 藍染めの化学と藍の機能性				
内容	まず天然の材料を使って「染め」が行えることを知る。草木染めをはじめとして藍染めがあることを学ばせ、藍染めの歴史や天然の藍染め液の作り方を教える。また藍には薬効があることも紹介する。実際の藍染料や藍の原料となる植物タデアイ、それを使った食品にも触れてもらう。				

No.	3	教員名	井口　博之	SDGsテーマ	
講義タイトル	微生物を活用した環境に優しい農業				
内容	農業はグリーンなイメージがあるが、農業が様々な環境に負荷を与えていることを知る。続いて、見えない微生物の働きについて、土作り（物質循環）、温室効果ガス、病原菌の観点から説明し、最後に近年の科学研究で開発が進んでいる微生物農薬や植物生長調整剤などの特徴を紹介する。				

No.	4	教員名	遠藤　暁詩	SDGsテーマ	
講義タイトル	食べられない植物細胞壁のおいしい利用方法を考える				
内容	植物の特徴の1つは、その複雑な細胞壁にあります。人は昔から、消化・吸収できない植物細胞壁を紙や木材として利用してきました。これからは、再生可能資源である細胞壁を、高機能素材などへと高度に利活用することが重要です。そのためには、細胞壁デザイン技術の開発と、細胞壁本来の機能の理解が必要です。				

No.	5	教員名	大西　信弘	SDGsテーマ	
講義タイトル	アジアのカワウソの保全				
内容	ニホンカワウソは、2012年に「絶滅種」に指定されてしまいました。しかし、今でも世界には１３種のカワウソが生息しています。北海道に行けばラッコもいるし、対馬にはユーラシアカワウソが泳ぎ着いています。ミャンマーの野生のカワウソの暮らしを紹介しながら、野生動物の保全について考えてみましょう。				

No.	6	教員名	大西　信弘	SDGsテーマ	
講義タイトル	多様な動物たちの進化の歴史				
内容	５億４０００万年前のカンブリア大爆発で、現在の動物の祖先たちが誕生したと考えられています。カンブリア大爆発で生じた動物群は、その後、５回の大絶滅を乗り越えて現在まで進化し続けてきました。様々な動物を紹介しながら、多様な動物に進化してきた歴史について考えてみましょう。				

No.	7	教員名	大西　信弘	SDGsテーマ	
講義タイトル	水田の魚を食べる文化				
内容	水田は、わたしたちの一番身近な自然です。水田には、カエルやバッタ、いろいろな鳥や魚が暮らしています。水田の魚やカエルは、アジアの国々では重要な食料です。日本では、廃れてしまいましたが、、　アジアの稲作地域の動物を紹介しながら、水田の自然について考えてみましょう。				

No.	8	教員名	大秦　正揚	SDGsテーマ	
講義タイトル	ダーウィンの自然選択説とは？				
内容	全ての生物の進化を普遍的に説明しうる唯一無二の仮説が自然選択説である。そして自然選択説を唱えたのがダーウィンである。ダーウィンによる自然選択説が生まれた背景とは、自然選択説の重要な３つのポイントとは、自然選択説の実証例とは、自然選択説が当てはまらない状況とは、様々な自然選択説の“とは”を紹介する。				

No.	9	教員名	大秦　正揚	SDGsテーマ	
講義タイトル	昆虫と植物の食う食われる関係				
内容	植食性昆虫は、現在種として記載されている生物種の内25%以上を占めるほどに多様に進化してきたグループである。だが、地球は緑でおおわれ植物は有り余っているように見える。なぜだろうか。それは全ての植物が均一にうまいわけではなく被食防衛をしているからだ。昆虫と植物の捕食-被食防衛の関係を紹介する。				

No.	10	教員名	大秦　正揚	SDGsテーマ	
講義タイトル	親の過ちが子の食物を決めている：近縁種間の繁殖干渉と食草選択				
内容	多くの生物が利用する資源は近縁種間で異なっている。この理由は近縁種間の資源をめぐる競争で説明されてきた。しかし、資源は競争するほどに枯渇しているのだろうか。例えば、植食性昆虫が利用する植物は有り余っているように見える。近年明らかになった近縁種間の“食い分け・すみ分け”の理由、繁殖干渉を紹介する。				

No.	11	教員名	奥　公秀	SDGsテーマ	
講義タイトル	身のまわりの炭素１つの化合物と微生物				
内容	炭素を1つしか持たない化合物（C1化合物）は、化学は難しそうと思っている皆さんにもわかりやすい形をしています。実はこのC1化合物こそ地球温暖化のカギとなっています。この講義ではC1化合物の地球上でのふるまいと、そこにかかわる微生物とをご紹介します。				

No.	12	教員名	奥　公秀	SDGsテーマ	
講義タイトル	ダイエットだけじゃない、体内のリサイクル活動、オートファジーのはたらき				
内容	何を食べてもいいダイエットとして一時期有名になったダイエット法として、オートファジーダイエットがあります。これは細胞がもともと持っているリサイクル能力オートファジーの活性化をおこすものです。日本が主導してきたオートファジー研究の最前線やそこから得られた面白い知見をご紹介します。				

No.	13	教員名	櫻間　晴子	SDGsテーマ	
講義タイトル	身近なバイオと「ものづくり」 ～埋蔵”菌”の発掘～				
内容	微生物利用技術（微生物バイオ）と言えば、発酵食品を思い浮かべる方が多いのではないでしょうか？しかし、微生物バイオは食品分野に留まりません。医薬品や化粧品、除草剤、排水処理など、「困ったことがあったら微生物に聞いてみる」…そのくらい、微生物バイオは多岐にわたっています。本講義では、微生物を利用した技術について紹介します。				

No.	14	教員名	櫻間　晴子	SDGsテーマ	
講義タイトル	わがままな乳酸菌とヒトとのいい関係				
内容	私たちは微生物に囲まれており、身近な微生物には環境から健康に至る現代が抱える問題を解決するヒントが隠されています。今回とりあげるのは、私たちの腸内にいる細菌（腸内細菌）！近年、「腸活」が流行し、ヨーグルトや整腸剤…気づけば、「乳酸菌」含有製品がちまたで溢れています。しかも、商品ごとに謳われる機能もさまざま。そんなパワーをもった乳酸菌（機能性乳酸菌）について考えてみましょう！				

No.	15	教員名	佐藤　隆徳	SDGsテーマ	
講義タイトル	栽培植物の起源について				
内容	私たちが毎日食べている、イネ、ムギ、野菜、果物などの栽培植物は、いつから、どこで、どのようにして食料として利用されるようになったのでしょうか？また、これら食料はこれからも安定して手に入れることが出来るのでしょうか? これからの農業を考えてみましょう。				

No.	16	教員名	四日　洋和	SDGsテーマ	
講義タイトル	化学分析の基礎 ～検量線法について～				
内容	調理用の塩分計はどのような仕組みで濃度を表しているのでしょうか？化学分析では、分析試料中にある物質がどのくらい含まれているかを分析することを定量分析と言いまして、標準試料の濃度と検出器のレスポンスの関係から検量線を作成して未知試料の濃度を表しています。分析化学の基本である検量線法について説明します。				

No.	17	教員名	清水　伸泰	SDGsテーマ	
講義タイトル	生き物が作り出す薬と毒～魅力あふれる有機分子～				
内容	主に昆虫を中心とする動物、植物、微生物が作り出す有用物質について、その化学的な特徴と機能（生理活性）を紹介します。特に医薬品として利用されている天然物を詳しく解説しながら、未利用な資源（生き物やそれに関連した物質群）が眠っていることについてお話しします。				

No.	18	教員名	清水　伸泰	SDGsテーマ	
講義タイトル	天然物は安全で合成物は危険？～人の暮らしに役立つ有機分子を中心に～				
内容	生きものが作り出す物質であれば人間にとってすべて安全なのでしょうか。そもそも天然物と合成物に違いはあるのか、何をもって安全なのか危険なのかを化学的な視点から解説します。テレビやSNSのさまざま情報の中から、科学的に信頼できる情報は何かを考えたいと思います。				

No.	19	教員名	鈴木　玲治	SDGsテーマ	
講義タイトル	里山の暮らしが生み出す生物多様性				
内容	薪炭材の伐採や堆肥用の落葉かきなど、人々の暮らしが育んできた自然である里山には明るい環境を好む多様な生物が生育していますが、農山村の過疎化・高齢化などに伴いこのような人里の自然は失われつつあります。本講義では、里山の自然の価値を見直しながら、人と多様な生物の共存を可能とする暮らしのあり方を考えます。				

No.	20	教員名	鈴木　玲治	SDGsテーマ	
講義タイトル	焼畑で復活！ 日本の食・森・地域				
内容	焼畑は、自然の再生力を活かした化学肥料・除草剤が不要な循環的農業です。森林破壊の元凶などではなく、休閑期には多様性に富む里山林が再生します。近年の日本では焼畑復活が各地でみられ、都市と農村の交流のきっかけにもなっています。本講義では、焼畑の魅力を紹介しながら、日本の食・森・地域の将来展望を考えます。				

No.	21	教員名	鈴木　玲治	SDGsテーマ	
講義タイトル	動物による森づくり：ドングリの散布とノネズミ類の関係				
内容	カシやナラなどのブナ科樹木の果実であるドングリは、種子の栄養価が高くノネズミなどの野生動物の餌になっています。ブナ科樹木からみたノネズミは、貴重な種子を食べてしまう敵であると共に、種子の散布を手助けする協力者でもあります。本講義では、森林生態系におけるドングリとノネズミの様々な駆け引きを紹介します。				

No.	22	教員名	高澤　伸江	SDGsテーマ	
講義タイトル	マイクロプラスチックと私たちの生活				
内容	皆さんはマイクロプラスチックを見たことがありますか？プラスチックによる海洋汚染問題を耳にする機会も増えましたが、実は、そのプラスチックの起源の多くは陸にあります。マイクロプラスチックを観察し、私たちの身近にあるプラスチック問題から世界のプラスチック問題について考えてみましょう。				

No.	23	教員名	高澤　伸江	SDGsテーマ	
講義タイトル	南極海の植物プランクトンが地球温暖化を防ぐ！？				
内容	DMS（硫化ジメチル）は海洋のプランクトンが作り出す硫黄化合物で、磯の香りの主成分として知られます。海洋から大気中に放出されると、大気中で酸化され、雲の凝結核になることから、地球の気候にも関連すると言われています。海の中の小さな生き物が気候や物質循環にどう関連するのか考えてみましょう。				

No.	24	教員名	髙瀬　尚文	SDGsテーマ	
講義タイトル	ゼロ＋ゼロから新しい生物機能が生まれる共生の不思議とその利用				
内容	自然界では異種の生物同士が密接な結びつきをもって生活していることがあります。模擬講義では、互いに利益を受ける相利共生の例として有名なマメ科植物と根粒菌の関係を深く学び、さらに学びを細胞内共生や共生説の理解に発展させることで、細胞の進化について考えます。				

No.	25	教員名	髙瀬　尚文	SDGsテーマ	
講義タイトル	食品がもつ第4の働きをスポーツに活かす				
内容	私たちは、食物によってエネルギー源を取り入れ、取り入れたエネルギー源からエネルギーをつくりだし、生命活動に利用しています。同化と異化の理解が進むにつれて、食物のもつ意味合いが変貌しています。模擬講義では、スポーツドリンクの秘密を解き明かしながら、バイオ分野の視点で食品の付加価値を学びます。				

No.	26	教員名	髙瀬　尚文	SDGsテーマ	
講義タイトル	バイオとは、どんな分野でしょうか。				
内容	バイオと一口でいっても「不可能を可能にするバイオ」「夢を叶えるバイオ」「未知との恐怖に打ち勝つバイオ」「社会の願いに応えるバイオ」など、さまざまです。これら研究事例の紹介を通じてバイオ分野の広がりを学び、バイオへの期待とその使命を考えます。				

No.	27	教員名	永野　真理子	SDGsテーマ	
講義タイトル	ミジンコが語る水環境				
内容	ミジンコは、環境によって姿を変えることができる不思議な生き物です。普段はメスだけでどんどん増えますが、危険を感じるとオスを生み出し、子孫を残すために卵を産みます。この能力のおかげで、ミジンコは様々な環境で生き抜くことができるのです。小さな体の中に、驚きの生命力が詰まっているミジンコの世界を、ぜひ覗いてみてください。				

No.	28	教員名	丹羽　英之	SDGsテーマ	
講義タイトル	ドローンを使った自然環境のモニタリング				
内容	生物多様性を保全していくためには、自然環境の現状や変化をモニタリングし、その結果をもとにマネジメントしていくことが重要です。自然環境のモニタリングにもドローンなど先端技術が応用され始めており、その事例を紹介します。				

No.	29	教員名	萩下　大郎	SDGsテーマ	
講義タイトル	持続可能な社会を実現するために				
内容	最先端のバイオテクノロジーを駆使することで、産業の未来を切り拓き、環境保全にも貢献できます。微生物の持つ力を利用し、医薬品などの有用化学物質の生産や、有害物質の分解による環境浄化といった社会課題の解決を目指した研究が行われています。				

No.	30	教員名	藤井　孝夫	SDGsテーマ	
講義タイトル	元素が動く宇治茶の世界　～資源循環の功罪～				
内容	チャの木はアンモニア態窒素を好みます。江戸時代中期より茶生産者は屎尿（アンモニア態窒素）の多用により窒素成分をチャの木に供給しましたが、そのことが原因で明治大正期に大問題が発生しました。これを教訓として、適切な資源循環のあり方を紹介します。				

No.	31	教員名	藤井　孝夫	SDGsテーマ	
講義タイトル	なぜ宇治茶は800年間飲み継がれてきたのか？　～その香味と機能性～				
内容	鎌倉時代初期に中国から抹茶法が伝わり現在も飲み継がれています。玉露や煎茶を含めて、宇治茶は時代を経て日本人の嗜好に併せたイノベーションがあり現在に至っています。その香味を構成する物質や近代科学がもたらした機能性物質などの知見を持って、なぜ800年間飲み継がれてきたのか考えましょう。				

No.	32	教員名	藤井　孝夫	SDGsテーマ	
講義タイトル	抹茶スイーツ人気の秘密を教えます。				
内容	抹茶や抹茶スィーツの人気が国内外で沸騰しています。そもそもこの人気は誰が仕掛けたのか？　歴史的な背景を探索し、ブラッシュアップされた現在の抹茶や抹茶スイーツの魅力の理由に迫ります。ヒントは江戸幕末を起点とした日本茶輸出にあります。				

No.	33	教員名	藤井　孝夫	SDGsテーマ	
講義タイトル	なぜ京野菜が売れるのか　～京野菜のブランド戦略～				
内容	昭和の時代には「京野菜」は、地方野菜に過ぎませんでした。平成になり京都府やJAグループにより「京のブランド産品認証制度」が立ち上げられ生産拡大や販売攻勢が開始されました。これが奏功して、それまで固有名詞であった「京野菜」が普通名詞になりました。地域産品販売ビジネスの戦略と戦術を紹介します。				

No.	34	教員名	藤井　孝夫	SDGsテーマ	
講義タイトル	土壌は鉱物の粉ではない　～物質循環の要～				
内容	なにげなく踏みしめて歩く靴底の下に土壌があります。鉱物から土壌が生成されるには数十万年以上の自然の営みが必要です。一方で自然災害や開発のための農地転用、産業や生活に起因する化学物質などで土壌が劣化、消失しています。僅か数十年間のことです。私たちの生活にとって大切な土壌の性質について考えましょう。				

No.	35	教員名	藤井　康代	SDGsテーマ	
講義タイトル	竹は木か草か				
内容	日本最古の物語といわれている「竹取物語」にも出てくる竹は、日本人にとって身近に存在しかつ利用してきた植物です。美しい竹林は日本らしい景色であり、海外からの旅行者にとって魅力的な観光地となっています。皆さんは、竹がどのような植物か知っていますか？植物としての竹の魅力と不思議を紹介します。				

No.	36	教員名	藤井　康代	SDGsテーマ	
講義タイトル	放置竹林をどう生かすか				
内容	資源として利用されてなくなった竹はどんどん生育範囲をひろげ、近隣の住宅地や森林に入り込んでいます。このような放置竹林をそのままにしておくと、さらに竹林がひろがり、ますます厄介者になります。でも竹は成長が早く、資源として有望です。どのような利用法があるのか考えてみましょう。				

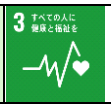
No.	37	教員名	藤井　康代	SDGsテーマ	
講義タイトル	環境問題もエネルギー問題も農地で解決				
内容	多くの国が二酸化炭素の排出量を実質ゼロにすることを目指しています。すでに増加してしまった二酸化炭素濃度はそのままでいいのでしょうか。京都府亀岡市から始まった、二酸化炭素濃度を農地を使って減少させよう、という動きが日本各地に広がっています。どういったものか紹介します。				

No.	38	教員名	藤田　裕之	SDGsテーマ	
講義タイトル	食品を化学の目線で科学する。				
内容	皆さんが日頃口にしている食べ物には、いろいろな物質が混ざっています。この中には身体にいいものだけではなく害するものも含まれています。そのような成分をどのようにして分析していくかについて紹介します。				

No.	39	教員名	藤田　裕之	SDGsテーマ	
講義タイトル	食品の安全性と機能性について				
内容	食品だからといって必ずしも安全なものばかりとは限りません。ビタミンの中ですら適量を超えると毒になる物質があります。そこで、このような食品の機能性と安全性について考えてみたいと思います。				

No.	40	教員名	藤田　裕之	SDGsテーマ	
講義タイトル	食品の表示はどうなってるの？				
内容	いつもスーパーやコンビニで買う食品やお菓子にはいろいろな表示がしてあることに気がついていますか？これにはいろいろな法律で決められています。この表示の方法を知り、賢い買い物ができるようになりましょう。				

No.	41	教員名	藤田　裕之	SDGsテーマ	
講義タイトル	ロコモ、フレイル、サルコペニアって何？				
内容	最近、ロコモとかフレイルと言うような言葉を聞いたことがありませんか？年齢を重ねると必ず生じる身体的、精神的な衰えがあり、いくつか原因がわかってきています。皆さんも若いうちからそうならないような対策を考えてみたいと思います。				

No.	42	教員名	藤田　裕之	SDGsテーマ	
講義タイトル	コホート試験ってなに？住民調査で明らかになる健康に関わる因子とは				
内容	医薬品の開発には臨床試験が行われますが、もっと大規模な住民検診などを通したコホート試験と呼ばれるものが行われています。特に生活習慣と健康の維持との関係について広く研究がされています。これまでにどんなことがわかってきたか調べてみましょう。				

No.	43	教員名	船附　秀行	SDGsテーマ	
講義タイトル	作物の品種改良ってどうやるの？				
内容	お米や果物などでは、たくさんの品種が知られていて、新しい品種を作る「品種改良」という言葉もよく耳にしますが、それはどのように行われているのでしょうか？農業試験場や大学での事例を見ながら、品種改良の原理ややり方を知り、その大変さと面白さを実感しましょう。				

No.	44	教員名	船附　秀行	SDGsテーマ	
講義タイトル	環境にやさしい作物，ソバを科学する				
内容	食品としてのおそばはよく知られていますが、作物としてのソバってよくわかりませんよね。実は、無農薬、少肥料でも栽培できる、環境にやさしい作物なのです。また、その実は栄養に富んでいて、とてもヘルシー。そうしたソバの魅力を紹介します。				

No.	45	教員名	プリエト　ラファエル	SDGsテーマ	
講義タイトル	ゲノム編集や遺伝子組換え技術による品種改良				
内容	人間にとって望ましい形質をもたらす遺伝子をたくさん持つ植物を作るのが品種改良と呼ばれます。本講義では、遺伝子組み換えやゲノム編集の原理について理解して、それらの技術による品種改良の現状や今後の展望などについて考察します。				

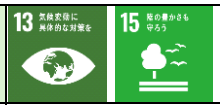
No.	46	教員名	プリエト　ラファエル	SDGsテーマ	
講義タイトル	植物の環境応答・適応の機構、ファイトレメディエーション（植物による環境浄化）				
内容	植物は様々な環境の変化に応答し適応しながら成長しています。環境ストレスに適応できる植物とできない植物がどのように異なっているかについて考えながら、遺伝子組み換え技術などによる環境ストレス耐性が向上した作物、ファイトレメディエーションに適する植物の開発などについて紹介します。				

No.	47	教員名	プリエト　ラファエル	SDGsテーマ	
講義タイトル	自然界の光合成と人工光合成の仕組み				
内容	植物は、太陽エネルギーを利用して無機物から種々の有機物を作ることにより地上のあらゆる生物の生命維持に極めて重要な役割を担っています。本講義では、光合成と人口光合成の仕組みを比較しながら、人口光合成による代替エネルギー、工業的に利用価値のある有機物の合成や今後の展望などについて考察します。				

No.	48	教員名	寶関　淳	SDGsテーマ	
講義タイトル	タンパク質の一生：細胞内の世界				
内容	細胞内のタンパク質はアミノ酸がつながった1本のひもとして作られ、これがおりたたまれて形作られることで初めて一人前となります。その後、働くべき場所に移動して働き、やがては老いて死を迎えます。細胞内のタンパク質はこんな一生を送っています。異常なタンパク質がたくさんいると様々な病気の発症原因となります。健康維持とも関わりの深い細胞内の世界を覗いてみよう。				

No.	49	教員名	寶関　淳	SDGsテーマ	
講義タイトル	生命の設計図を操る：エピジェネティクスとゲノム編集				
内容	双子は遺伝的に同一なのにどうしていろんな違いが現れてくるの？ゲノム編集技術ってどういう仕組み、これを使うとどんなことができるの？こんな疑問に答えるため、生命の設計図であるゲノムの働きを変えるエピジェネティクスとゲノムを人工的に変えるゲノム編集についてお話しします。				

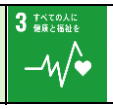
No.	50	教員名	坊　安恵	SDGsテーマ	
講義タイトル	肉類生産から食生活を考える				
内容	近年、我が国の食生活においてタンパク質の供給源は、魚類から肉類へと変化しています。これは日本だけでなく、経済発展している諸外国においても肉類の摂取量は増加傾向にあります。そこで、肉類の生産から今後の私たちの食生活について考えてみましょう。				

No.	51	教員名	三村　徹郎	SDGsテーマ	
講義タイトル	植物にも五感がある				
内容	光合成を行うことで、生きるために必要とする有機物を自ら合成することができるようになった植物は、食糧を探す必要がある動物と違って動く必要がなくなりました。代わりに一度生育を始めた場所から動かないため、周りの環境の変化を動物以上に鋭敏な五感を持って感じ取り、それに対処できるようになっています。この植物の五感について説明します。				

No.	52	教員名	三村　徹郎	SDGsテーマ	
講義タイトル	植物だって動きたい				
内容	一つの場所に固着して生育する植物は、動物のように異なる場所の間を動き回ることは出来ません。代わりに、身体の様々な部分を動かして環境の変化に対応することができます。例えば、ムギワラソウは雨が降ってくると花びらを急いで閉じて、中の花粉が流れ出すことを防いだりします。そのような植物の運動の仕組みについて説明します。				

No.	53	教員名	三村　徹郎	SDGsテーマ	
講義タイトル	植物があやつる水と圧力の世界				
内容	動物は動き回るために筋肉を利用していますが、オジギソウの触ると葉を閉じるといった植物の運動は、細胞が吸収した水の動きから生じる細胞内の圧力（膨圧）の変化を利用して行われます。植物は体内の水とそれによって生じる圧力を様々に制御して生きているので、その物理的機構の面白さを説明します。				

No.	54	教員名	矢野　善久	SDGsテーマ	
講義タイトル	命を支えるバイオテクノロジー				
内容	バイオテクノロジーとは生物が持つ特性を活かし、我々の生活などに役立てる技術です。この技術は古くから品種改良や発酵食品の生産に用いられ、近年では遺伝子改変技術を取り入れ、医薬品開発などの健康・医療分野にも使用されています。この講義ではバイオテクノロジーの現状と今後の展望について解説します。				

No.	55	教員名	矢野　善久	SDGsテーマ	
講義タイトル	食品機能学入門　～医食同源を形にした食品～				
内容	近年、様々な「保健機能食品」が販売されるようになりましたが、これらは単なるイメージではなく科学的根拠に基づき開発されています。この授業ではいくつかの保健機能食品の開発法や機能性について解説するとともに、本学部学科での取り組みなども紹介します。				

【実験】

No.	56	教員名	井口　博之	SDGsテーマ	
講義タイトル	【実験】 酵母と麹菌の発酵パワー（模擬実験）				
内容	パン、醤油、味噌、酒造りに活躍している発酵微生物たち。実際に、これら発酵食品作りの一工程（糖質やタンパク質の酵素分解）を実験で体験させ、それを通して発酵食品作りや発酵微生物の働き、そこで起きている化学反応を学ばせる。				

No.	57	教員名	高澤　伸江	SDGsテーマ	
講義タイトル	【実験】 栄養塩を測定してみよう（水中のリン酸塩の分析）				
内容	家庭や学校、プールや工場など、私たちは様々な場所で水を利用しています。私たちは使用した水を最終的に自然界に流していますが、それには適切な処理が必要です。水質モニタリングでしばしば測定されるリン酸を測定してみましょう。				

No.	58	教員名	髙瀬　尚文	SDGsテーマ	
講義タイトル	【実験】 生命の設計図であるDNAを細胞から取り出す				
内容	生物の共通性を確認した上で、遺伝情報とその発現を学び、さらにDNAに刻まれている情報とその利用を考察し、DNAの産業利用や人間生活との関りを考えます。ミニ実験では、野菜からDNAを抽出し、遺伝情報が物質であることを体感します。				

No.	59	教員名	髙瀬　尚文	SDGsテーマ	
講義タイトル	【実験】 植物の不思議を解き明かす				
内容	青い花が咲くアサガオを育てたことがありますか。花色が、つぼみのときは赤紫色、開花すると青色、しぼむと赤紫色と次々と変化することに気が付きましたか。模擬講義では、実験を通じてアサガオの花色が変化する仕組みを解き明かしてもらいます。				

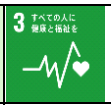
No.	60	教員名	髙瀬　尚文	SDGsテーマ	
講義タイトル	【実験】 見えないけど、そこにいる。何がいるのか調べてみよう				
内容	植物の表面にはどんな世界が広がっているのでしょうか。そこでは何が起きているのでしょうか。日常生活では意識しない葉圏や根圏を話題にして、目で見えないミクロの世界を探求する生命科学と出会う模擬講義です。ミニ実験では、葉圏に生息する微生物を培養し、見えないものを可視化する実験を体験します。				

健康医療学部

看護学科

No.	1	教員名	池上　理子	SDGsテーマ	
講義タイトル	がん患者さんの周術期を支える看護 - 胃や腸の手術を受ける患者さんを通して考える				
内容	手術療法はがん治療の根治療法のイメージがあるが、多くの場合、患者は不可逆的な身体機能の変化に適応していくことが必要となる。本講義では、胃切除・直腸切除の事例を通して、それぞれの患者にあった社会生活への復帰を目指して、看護職が医療福祉などの他職種と協働しどのような支援をしているのかを考えていきたい。				

No.	2	教員名	石上　早苗	SDGsテーマ	
講義タイトル	保健師ってどんな仕事？　地域で暮らす全ての人々の健康を守る				
内容	地域で暮らす全ての人々を対象に、住み慣れた地域で最後まで自分らしく暮らし続けるために、「保健師」がどのような事をしているのか、健康で暮らし続けるための自身のあり方を考えていきます。				

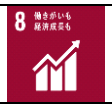
No.	3	教員名	石上　早苗	SDGsテーマ	
講義タイトル	災害時の減災対策　自分や地域の命を守るためにできること				
内容	災害大国である「日本」。南海トラフ地震の危険性が日々叫ばれています。自分や大切な人の命を守るために、自分にできることを考えてみませんか。災害が起きた時に、どのような行動をすればよいのかを考えます。				

No.	4	教員名	今西　誠子	SDGsテーマ	
講義タイトル	子どもに起こりやすい事故とその予防				
内容	子どもに生じやすい事故の原因とその対策について、子どもの成長発達の特性から説明します。子どもの命を守るために、どのような対策を講じられるのかについて、子どもの日常生活を踏まえ、看護視点から安全に健康に成長するための支援を考えます。				

No.	5	教員名	今西　誠子	SDGsテーマ	
講義タイトル	子どものがんばりをひきだす看護の技～プレパレーション～				
内容	子どもの心の準備や最後までやり通す力を支える看護の技について紹介します。小さな子どもは、体験や周りの大人の意見を基に自分なりの考えを培っていきます。子ども自身が、自分のことを自分で決め、目標に向かって頑張り続けられるための支援について考える機会を持ちます。				

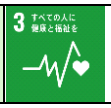
No.	6	教員名	今西　誠子	SDGsテーマ	
講義タイトル	子どもやその家族を対象とした災害対策について看護師ができること				
内容	小児病院やクリニックなど医療施設、保育園や児童館などの児童福祉施設での災害対策について紹介します。災害対策の理解を基に時に地域に住む人々に取り組んでほしいことや、看護職として支援できることを一緒に考えます。				

No.	7	教員名	上野　千代子	SDGsテーマ	
講義タイトル	訪問看護って何をするの？				
内容	病気や障がいがあっても住み慣れた地域で暮らし続けたいと願う人々が増えています。訪問看護は看護師が患者さんのご自宅を訪れ、ケアや治療を行うサービスです。この講義では訪問看護について学び、住み慣れた地域での生活を支援する方法を考えます。				

No.	8	教員名	假谷　ゆかり	SDGsテーマ	
講義タイトル	看護師の身体に負担が少ない姿勢と動作について　-ボディメカニクスの効果的な活用-				
内容	看護師は骨格・筋肉の構造と機能やてこの原理等の知識を活用して、身体への負担を軽減し、効率よく力を発揮できる姿勢と動作で看護ケアを行っています。ボディメカニクスについて学び、良い姿勢と動作を一緒に体験してみましょう。				

No.	9	教員名	嶌田　理佳	SDGsテーマ	
講義タイトル	知っておきたい正しい応急手当：急病編				
内容	皆さんは正しい体温の測り方を知っていますか？この講義では、「なんか調子が悪いなあ」「病気かな？」と思った時の体温や脈拍などの正しい測り方を知り、熱がある人やおなかが痛いなどの症状がある人に対する看病の仕方を学びます。				

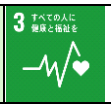
No.	10	教員名	嶌田　理佳	SDGsテーマ	
講義タイトル	知っておきたい正しい応急手当：外傷編				
内容	誰でもけがをしたり、誰かのけがの手当をした経験があるでしょう。この講義では、講義と実演を通して、出血、骨折、捻挫、熱傷などの外傷（けが）に対する応急手当の方法を学びます。この知識は、アウトドアを楽しんでいる時や、災害時などでも役立てることができます。				

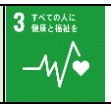
No.	11	教員名	嶌田　理佳	SDGsテーマ	
講義タイトル	熱中症からみんなを守ろう！				
内容	近年の日本の夏は「災害級の暑さ」といわれ、春から秋にかけて熱中症で救急車で病院に搬送される人は、全国で10万人にのぼります。自分自身が熱中症にならないようにすることはもちろん、周囲の人をどのようにして熱中症から守ることができるのかを学びます。				

No.	12	教員名	杉島　優子	SDGsテーマ	
講義タイトル	高齢者の術後せん妄と看護				
内容	長寿社会の日本では、高齢で手術を受けられる方が増えています。手術を無事に受けられたものの、手術後に「術後せん妄」という術後合併症が起こることがあります。眠れなかったり興奮したり、見えないものが見えたりします。これは術後の回復を妨げるものなので、要因や症状、そして看護などを一緒に学んでいきましょう。				

No.	13	教員名	鈴木　ひとみ	SDGsテーマ	
講義タイトル	体の声を聴く　体調を知るための体からのサインを受け取ろう（バイタルサイン測定）				
内容	人体はその構造と機能から、自律的に体調を整えるしくみがあり、休むことなく生命を維持できるように活動しています。自分の体調に意識を向けても、自覚できることは大変少ないです。そこで体温、呼吸、循環を測定することで、体の奥で起こっていることを予測することや、体内の環境を整えている状態を評価できます。				

No.	14	教員名	鈴木　ひとみ	SDGsテーマ	
講義タイトル	感染から自分を、相手を守るために必要なこと（感染予防対策）				
内容	様々な細菌・ウィルスに囲まれて私たちは生活しています。しかし、必ずしも感染症を発症するわけではありません。体内に細菌やウィルスを入れない、他者にそれをうつさない、暴露されても発症しない、それはどのような予防行動をとればいいでしょうか。感染症に立ち向かう看護職者の姿も知って頂きたいです。				

No.	15	教員名	辰巳　有紀子	SDGsテーマ	
講義タイトル	「自分にとって大切なこと」を探すゲームをしてみよう！				
内容	カードゲーム式の意思表出支援ツールを用い、自分が大切にしていることを再確認していきます。またクラスメートと一緒にゲームをし、他者が大切にしていることやその理由を共有し、自分との共通点や違いを感じてもらいます。そしてこれらを通し、「自分らしく生きること」を守り、支える看護支援について考えます。				

No.	16	教員名	中尾　奈歩	SDGsテーマ	
講義タイトル	老いの過程を生きる人々への看護				
内容	年を取ると身体やこころはどう変化するのでしょうか。誰しも訪れる老いの世界はとても面白く奥深いです。大学で実際に行われている授業や演習を紹介しながら老年看護について楽しく学習しましょう。				

No.	17	教員名	中尾　奈歩	SDGsテーマ	
講義タイトル	高齢者の歩行・移動の看護				
内容	高齢者は、今まで当たり前にできていた歩くことが徐々に難しくなり、些細なきっかけで転倒しやすくなります。病院や介護施設での転倒予防に加えて、高齢者が転ぶことを恐れずに生き生きと活動するための看護について一緒に考えましょう。				

No.	18	教員名	中田　ゆかり	SDGsテーマ	
講義タイトル	睡眠と学力との関係				
内容	近年、スマートフォンの普及、SNSの発達により、子どもの夜更かしや睡眠不足が指摘されています。睡眠が適切な子どもと睡眠が十分でない子どもと比較した先行研究や厚生労働省の「健康づくりのための睡眠ガイド 2023」をもとに、睡眠の大切さをお話しします。				

No.	19	教員名	中田　ゆかり	SDGsテーマ	
講義タイトル	睡眠と生活習慣病との深い関係				
内容	大谷翔平選手が、特に睡眠に気をつけられていることは有名です。睡眠は疲れを取ったり、身体や脳の働きを向上させるだけでなく、適切な睡眠がとれていない状態が続くと生活習慣病にも影響があります。生活習慣病は若い年代からの生活習慣が大きく影響しますので、改めて睡眠の重要性についてお話ししたいと思います。				

No.	20	教員名	中田　ゆかり	SDGsテーマ	
講義タイトル	スマホと睡眠との関係				
内容	近年、スマートフォンの普及、SNSの発達により、子どもの夜更かしや睡眠不足が指摘されています。スマートフォンを寝る前に寝床で使用することで、睡眠にどのような影響があるのかについて、先行研究や厚生労働省の「健康づくりのための睡眠ガイド 2023」をもとに、睡眠の大切さをお話しします。				

No.	21	教員名	夏山　洋子	SDGsテーマ	
講義タイトル	メディカルアロマセラピーの可能性				
内容	アロマセラピーが生まれた歴史のあるフランスでは、製油は「薬品」として認められ、実際に座薬や飲み薬として使われているが、製油が雑貨扱いである日本ではアロマセラピーの医療的な効果など科学的根拠が研究により明らかになることが求められている現状です。メディカルアロマセラピーの可能性についての知見を提示します。				

No.	22	教員名	夏山　洋子	SDGsテーマ	
講義タイトル	赤ちゃんの不思議				
内容	胎児期の赤ちゃんが10か月近く成長し生まれて初めて呼吸をするところから、その体に起こる不思議を授業の生理的変化部分として説明します。赤ちゃんは胎児期、新生児期と大きな変化の中、それぞれの環境下に適応して生きていきます。赤ちゃんの持つ力強い適応力と不思議について伝えられたら嬉しいです。				

No.	23	教員名	温井　祥子	SDGsテーマ	
講義タイトル	親になりたいと思う人々への看護				
内容	「プレコンセプションケア」は、将来のライフプランを考えて日々の生活や健康と向き合うことをいい、次世代を担う子どもの健康につながるといわれている。日本では不妊症で悩む人々が増加している。親になりたいと思い治療を受ける人々への看護ケアについて学び、自身の健康と向き合うきかっけとなることを期待する。				

No.	24	教員名	林　朱美	SDGsテーマ	
講義タイトル	ストレスについて　～ストレスチェックをしてみよう～				
内容	ストレスは心身の健康に大きな影響を与える課題です。講義では、ストレスの定義や主なサインについて学び、実際にストレスチェック機器を用いて自分の状態を確認します。また、ストレスと上手に向き合う方法や解消に効果的な睡眠の重要性についても解説します。日常生活で役立つ具体的なストレスケアを一緒に考えます。				

No.	25	教員名	藤本　美穂	SDGsテーマ	
講義タイトル	子どもへの看護って何？～子どもたちの頑張りを支える看護の秘密～				
内容	子どもへの看護をSDGsテーマ「気候変動に具体的な対策を」と関連づけ、地球環境の危機が子どもの生育環境、権利などをどのように侵害しているのか、これからどのような不利益として襲いかかる可能性があるのかを講義する。				

No.	26	教員名	松井　達也	SDGsテーマ	
講義タイトル	なぜ「お酒は20歳になってから」なのでしょうか？				
内容	日本では今から約百年前に20歳未満のお酒は禁止となりました。その根拠としては成長期の身体や心（脳）に悪影響を及ぼすからと言われていますが、なぜ19歳はだめで、20歳以上はOKなのでしょうか？そもそも20歳未満の禁酒はどのように制度化されたかをこの講義を通じて、皆さんと考えたいと思います。				

No.	27	教員名	村田　優子	SDGsテーマ	
講義タイトル	採血に必要な看護技術とは				
内容	採血についてどのようなイメージがありますか？採血を受ける患者さんの苦痛を少しでも緩和したい！そのために必要な看護技術について、お話しします。看護師の役割をご紹介すると共に、皆さんと一緒に看護師の仕事について考えてみたいと思います。				

No.	28	教員名	矢吹　明子	SDGsテーマ	
講義タイトル	精神科看護師さんはどんな仕事をしているの？				
内容	5人に1人は心の病を経験すると言われ、メンタルヘルスが注目される中で、精神疾患と治療について概説し、さらに精神科の看護師に求められるスキルをはじめ、一般的な精神科の看護師の仕事内容から精神看護専門看護師(リエゾンナース)や災害派遣精神医療チーム（DPAT）での看護師の活動についてお話しします。				

No.	29	教員名	矢吹　明子	SDGsテーマ	
講義タイトル	自分の良い所を探してみようーこころを整えるためのエクササイズー				
内容	私たちの脳は、褒められると喜び、学習効果が高まったり、ストレスの解消やメンタルヘルスの向上にも役立つと科学的に言われ、自画自賛も同じ効果が得られます。ゲシュタルト理論に基づく視点の転換や、自分を褒めるポイントを紹介し、心を軽くポジティブな気持ちを届けてくれる【リフレーミング】を試してもらいます。				

No.	30	教員名	矢吹　明子	SDGsテーマ	
講義タイトル	こころの不調に悩むまわりの人をサポートしませんか？				
内容	誰もがこころの不調を経験する時代ですので、こころの病気に対してどうしたら回復するのかを知って、さらにはあなたが周りの人のこころの不調に気が付いてサポートする方法についてお話しします。				

言語聴覚学科

No.	1	教員名	吉村　貴子	SDGsテーマ	
講義タイトル	認知症の人への支援 -言語聴覚士がリハビリテーションで行うこと-				
内容	認知症の人に対する言語聴覚士が行うコミュニケーション支援やリハビリテーションについて学ぶことにより、住み続けられるまちづくりやそれを実現する革新的技術の活用の可能性について考えたいと思います。				

No.	2	教員名	弓削　明子	SDGsテーマ	
講義タイトル	子どものことばを育む言語聴覚士				
内容	子どもたちは生活の中で自然とことばを獲得していきます。そのためには、子どもを取り巻く環境や、大人のかかわりは重要です。ことばの発達過程を学ぶとともに、ことばを育むためのかかわりについて紹介します。				

No.	3	教員名	橋本　かほる	SDGsテーマ	
講義タイトル	赤ちゃんから高齢者まで 聴覚リハビリを担う言語聴覚士				
内容	聞こえは赤ちゃんがお母さんのおなかの中にいるときから発達し、大人と同じように聴こえるまでに時間がかかります。高齢になると聴こえ方も変化します。生活を豊かにする聞こえとことばの生涯発達について学びます。				

No.	4	教員名	楯谷　智子	SDGsテーマ	
講義タイトル	聴こえの仕組み				
内容	音は空気を振動させて耳に入ります。耳の中には鼓膜があり、音がその鼓膜を振動させると、耳の奥にある小さな骨が動き、音の信号が脳に送られます。 どうしてそれが「音」として聴こえるのか、その仕組みをわかりやすくご説明します。				

No.	5	教員名	楯谷　智子	SDGsテーマ	
講義タイトル	声が出る仕組み				
内容	声は、まず息が肺から出ることで始まります。その息は喉の中にある「声帯」を通るときに振動して、音を作ります。この振動が口や鼻を通って外に出ると声になります。どのように声が作られ調節されるのか、その仕組みをわかりやすくご説明します。				

No.	6	教員名	木村　航	SDGsテーマ	
講義タイトル	前頭葉の働きを楽しく体験しながら学んでみよう！				
内容	ヒトの大脳はどのように成熟していくのでしょうか。５歳では既に大人の約90%の質量があるとも言われています。ヒトの大脳の中でも前頭葉の働きについて体験を通して学んでみましょう。				

No.	7	教員名	古田　功士	SDGsテーマ	
講義タイトル	ヒトが話すメカニズムを知り、話せることがあたりまえでないことを知ろう。				
内容	「人が話すこと」はとても複雑な仕組みで成り立っています。話せることは決して当たり前ではないことを知り、病気や障害で話すことに困難がある人たちについて学びます。				

No.	8	教員名	斎藤　翔太	SDGsテーマ	
講義タイトル	見て・聞いて・感じてみよう。飲み込みの不思議。				
内容	食事を「飲み込む」ことが難しくなることを嚥下障害といいますが、言語聴覚士は嚥下障害のリハビリも担当します。普段は意識することの少ない「飲み込み」について、体験を通して学んでみましょう。				

健康スポーツ学科

No.	1	教員名	三宅　基子	SDGsテーマ	
講義タイトル	生涯スポーツの意義 ～全ての世代で運動・スポーツを楽しむ～				
内容	運動・スポーツは健康寿命の延伸とwell-beingの向上に大きく貢献します。定期的な運動は転倒や生活習慣病リスクを軽減します。またスポーツを通じた社会的交流は孤立を防ぎ、認知機能維持や精神的充実感をもたらします。楽しみながら健康を促進する手段として運動・スポーツは世代を超えて重要な柱となります。				

No.	2	教員名	池川　哲史	SDGsテーマ	
講義タイトル	運動部活実践経験から生まれるスポーツ専門職の魅力（スポーツ実践を活かしての社会貢献職について）				
内容	SDG's17目標「パートナーシップを通して目標達成」の理念を、部活スポーツと社会貢献の相乗効果から理解する。				

No.	3	教員名	新里　直美	SDGsテーマ	
講義タイトル	脂肪組織が面白い！脂肪を理解して肥満を減らす				
内容	油（脂肪）は太ると考えられてきましたが、太らない油があるのです。健康の敵だと考えられてきた脂肪や脂肪組織には、わたしたちが健康に暮らすための驚くような仕組みがありました。そこで、脂肪組織から出る「痩せホルモン」や食事の大切さを正しく理解して健康に過ごすヒントをお伝えします。				

No.	4	教員名	井口　順太	SDGsテーマ	
講義タイトル	スポーツと怪我について～どうしたらスポーツ傷害を予防できるか？～				
内容	スポーツ障害の発生メカニズムから予防について講義する。特に高校生アスリートで多い急性から慢性怪我を対象とし、実技や経験談を交えながら分かりやすく伝える。				

No.	5	教員名	新野　弘美	SDGsテーマ	
講義タイトル	スポーツインストラクターの仕事とは？				
内容	運動をする目的は「体力向上」「ダイエット」「生活習慣病の予防・改善」など、さまざまです。スポーツ・インストラクターは、それぞれのニーズに対応したトレーニングおよびレッスンプログラムを作成し、教育・指導をします。そのために必要な安全管理、専門的な知識と動作・指導スキルなどについての授業をします。				

No.	6	教員名	石井　泰光	SDGsテーマ	
講義タイトル	筋力トレーニングと持久力トレーニングのどちらが、一般人や高齢者の健康やQOLの向上に有効か？				
内容	一般人や高齢者の健康やQOLの向上のために、筋力トレーニングもしくは持久力トレーニングが推奨されることが多い。しかし、どちらが効果的であるのか、優先順位はどちらが高いのか、複数の観点から考えていきたいと思います。				

No.	7	教員名	細野　裕希	SDGsテーマ	
講義タイトル	同じ練習をしても効果に個人差があるのはなぜ？？				
内容	同じ練習をしていても、効果は人それぞれです。練習で上達できなかったのは、個人の才能の問題ではなく、その人に合った練習ではなかったのが原因かもしれません。この問題について、コーディネーション能力の視点から授業を展開します。				

No.	8	教員名	村山　大輔	SDGsテーマ	
講義タイトル	スポーツコーチとジェンダー				
内容	本授業では、現代社会におけるスポーツで重要性が増しているジェンダーに関して考えます。「性」に関して多様化が進む中でスポーツの実践場面で起こるジェンダーの問題について、具体的事例を取り上げながら深く考えてみましょう。				

No.	9	教員名	満石　寿	SDGsテーマ	
講義タイトル	メンタルトレーニングでパフォーマンス向上！				
内容	メンタルトレーニングでは、ストレス解消法をはじめチームや個人のコミュニケーションスキル、認知の歪みを修正する（ポジティブ・シンキング、リフレーミング）方法などを学ぶことができます。これらの知識の習得は、競技パフォーマンスの向上にとどまらず日々の生活におけるメンタルヘルスの安定にも繋げていくヒントになります。				

No.	10	教員名	瀧本　真己	SDGsテーマ	
講義タイトル	乳酸を活用して健康増進、パフォーマンスを高めよう！				
内容	かつて乳酸は疲労物質として不要なものとして考えられてきましたが、現在では運動のエネルギー源として骨格筋として利用されるだけでなく、脳機能を良くしたり、遺伝子発現にも影響することがわかってきました。乳酸を活用することで健康や競技力を高める方法について考えていきます。				

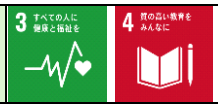
No.	11	教員名	濱中　良	SDGsテーマ	
講義タイトル	パラスポーツを通じて誰もがスポーツを楽しめる方法を考えよう！				
内容	パラスポーツの世界を知っていますか？魅力を体験したことはありますか？体育で実践している種目とはどんな違いがあるでしょうか？パラスポーツにはスポーツを楽しむためのヒントが多くあります。パラスポーツを通じて自分のスポーツの世界を広げてみましょう。				

No.	12	教員名	梶田　和宏	SDGsテーマ	
講義タイトル	野球を科学するーエビデンスベースド・コーチングの理論と実践ー				
内容	野球の科学的エビデンスと実践事例を中心に紹介し、少年期から青年期に有益なコーチングについて探究する。特に、身体を効率的かつ巧みに動かす秘訣について動作解析の視点からアプローチする。競技スポーツにおける練習やトレーニングの方法についてスポーツの基本動作から熟考し、エビデンスに基づくコーチングについて演習形式で学びを深める。				

No.	13	教員名	前田　奎	SDGsテーマ	
講義タイトル	ボール投げ、上から投げるか？横から投げるか？				
内容	一般にハンドボール投げは上から投げる方法であるオーバーハンドスローが主流です。しかし、ハンドボールのように握れないボールだと、オーバーハンドスローで重要な動作がうまくできない事例も見受けられます。そこで、陸上競技の円盤投げから着想を得た横投げ、サイドハンドスローという新たな投げ方を提案します。				

No.	14	教員名	成相　美紀	SDGsテーマ	
講義タイトル	スポーツパフォーマンスを高める日々の食事の考え方				
内容	スポーツパフォーマンスを高めるために食事はとても重要です。しかし、極端な栄養摂取や制限により身体を酷使してしまうアスリートが多いのも現状です。健康的に運動を行い、パフォーマンスを高めていくためにはどのような食事をすればいいのでしょうか。手軽に取り入れられる工夫をみなさんと一緒に考えていきます。				

No.	15	教員名	足立　名津美	SDGsテーマ	
講義タイトル	人はなぜスポーツに「ハマる」？ 社会課題の解決策としてスポーツはどう「ハマる」？				
内容	スポーツがファンの心を掴む理由と、地域や社会の問題・課題を解決する手段としてのスポーツの力について、スポーツマネジメント領域から解説し一緒に考えてみたいと思います。（希望に合わせて、スポーツ科学の学び全般やスポーツを支える職業についての解説も行います。）				

No.	16	教員名	早川　琢也	SDGsテーマ	
講義タイトル	モチベーションの科学　～どうやったら自律性が身につくのか？～				
内容	好きでスポーツを実施した時とイヤイヤやらされた時とでは、気持ちの面でどのような違いがありますか？この疑問を紐解くヒントは、「自律性」が関係しています。このような気持ちの違いについて、モチベーションについての研究や科学的根拠の観点から説明していきます。				

工学部

機械電気システム工学科

No.	1	教員名	Fuat Kucuk ※	SDGsテーマ	
講義タイトル	電気機械としてのモーターとその応用				
内容	日常生活でモーターはありふれています。家電、ロボット、ヒトとモノの輸送など様々な工業製品にはモーターが組み込まれていることは言うまでもありません。また、電気自動車やドローンなど未来技術にも電気モーターはその優位性を生かして不可欠なものとなっています。なぜ、モーターは未来輸送技術にそんなに重要なの？　今のモーター技術ってどこまで進化しているの？　モーター分野で京都先端科学大学工学部が目指すところはどこなの？模擬講義では、このような疑問に答えつつ“モーターの今と未来”について紹介します。				

No.	2	教員名	Alberto Castellazzi ※	SDGsテーマ	
講義タイトル	非接触型電力伝送：将来のモビリティを可能にするテクノロジー				
内容	輸送機関はハイブリッドおよび電気的なシステムにますます依存しています。 このような車両の動作範囲を拡大するには、分散型のオンザフライ再充電法が必要です。 非接触電力伝送はこれまですでに実証されており、主に低電力範囲（スマートフォン、タブレット）での用途向けで市販されています。 将来的には、より大きなエネルギー伝達能力に取り組む必要があります。 この講演では、必要な基盤となる電力変換ソリューションを確認し、潜在的なアプリケーションシナリオについて説明します。				

No.	3	教員名	堀井　滋	SDGsテーマ	
講義タイトル	超伝導と超強磁場の世界 液体窒素の手当てにより超伝導デモ実験*も可能　*京都近郊のみ				
内容	世の中には電気抵抗がゼロとなる不思議な物質が存在します。この超伝導物質をうまく利用するとロスなしに送電できる超伝導送電線やコイル状にすると強力磁石になります。この不思議な超伝導物質のすごさを模擬講義やデモ実験（京都近郊のみ）からエネルギー問題として理解することができます。				

No.	4	教員名	沖　一雄	SDGsテーマ	
講義タイトル	ドローンと先進農業への応用				
内容	いつでも・どこでも・気軽に観測できるドローンは広い範囲を画像として観測できます。この画像データ量は膨大であり、ビッグデータと呼ばれます。このビッグデータから有益な情報（付加価値情報）を生み出すためにはデータサイエンスによるアプローチが重要となります。模擬授業では、まずドローンのすごさを説明し、次に農業への展開を例に、ドローンによって観測されたビッグデータ画像からどのようなアプローチにより有益な情報を引き出し、社会に役立たせるための研究を進めているのかを紹介します。				

No.	5	教員名	Zilu Liang ※	SDGsテーマ	
講義タイトル	アンドロイドアプリを10分で作る方法				
内容	ソフトウェアコンピューティングテクノロジーの進歩により、誰でもプログラミングやスマホアプリ開発ができる時代になりつつある。この講義では、まずスマホアプリ開発の概要を説明し、次にMIT App Inventorと呼ばれるビジュアルプログラミングソフトウェアを使用して手短かにAndroidアプリの開発を実演する。最後に、実際の授業でも毎回行っている楽しく学べるクイズを体験してもらう。さあ、スマホアプリを作る楽しさに触れてみよう。				

※外国人教員による英語講義、日本語補足付き

KUAS 京都先端科学大学
KYOTO UNIVERSITY of ADVANCED SCIENCE
お問い合わせ先
入学センター
TEL：075-406-9270
E-mail：nyushi@kuas.ac.jp
【京都太秦キャンパス】〒615-8577　京都市右京区山ノ内五反田町 18　【京都亀岡キャンパス】〒621-8555　京都府亀岡市曽我部町南条大谷1-1